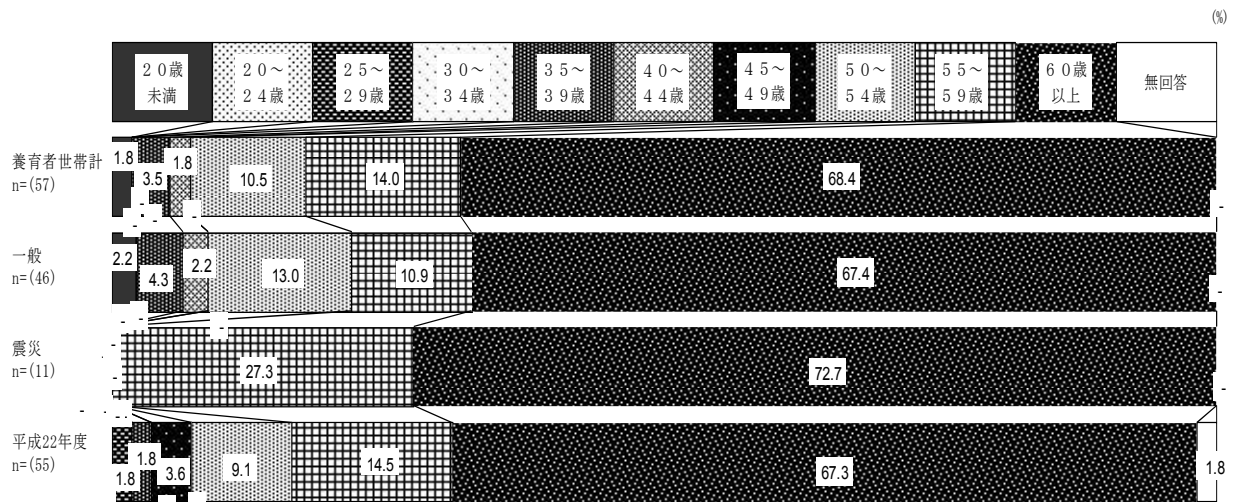


VI. 調査結果 養育者世帯

(1) 本人および世帯の状況について

①年齢

質問1 あなたの現在（平成25年9月1日現在）の年齢は何歳ですか
 [該当する番号1つに○をつけてください。]



n=		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
平成25年度	養育者世帯計 (57)	1.8	-	-	-	3.5	1.8	-	10.5	14.0	68.4	-
	一般 (46)	2.2	-	-	-	4.3	2.2	-	13.0	10.9	67.4	-
	震災 (11)	-	-	-	-	-	-	-	-	27.3	72.7	-
平成22年度	養育者世帯計 (55)	-	-	1.8	-	1.8	-	3.6	9.1	14.5	67.3	1.8

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の年代

現在の年齢については、全ての世帯において「60歳以上」（60%強～70%台）が高く、次いで養育者世帯計と震災養育者世帯では「55～59歳」（14.0%と27.3%）、一般養育者世帯では「50～54歳」（13.0%）となっている。

一般養育者世帯と震災養育者世帯を比較すると、「一般世帯」は若干だが若い世代もいるのに対し、「震災世帯」の対象が11世帯だが「55～59歳」「60歳以上」の年代のみとなっている。

平成22年度の調査と比較すると上位3位までの年代は同様の傾向となっている。

VI. 調査結果 養育者世帯

②養育している20歳未満の子ども

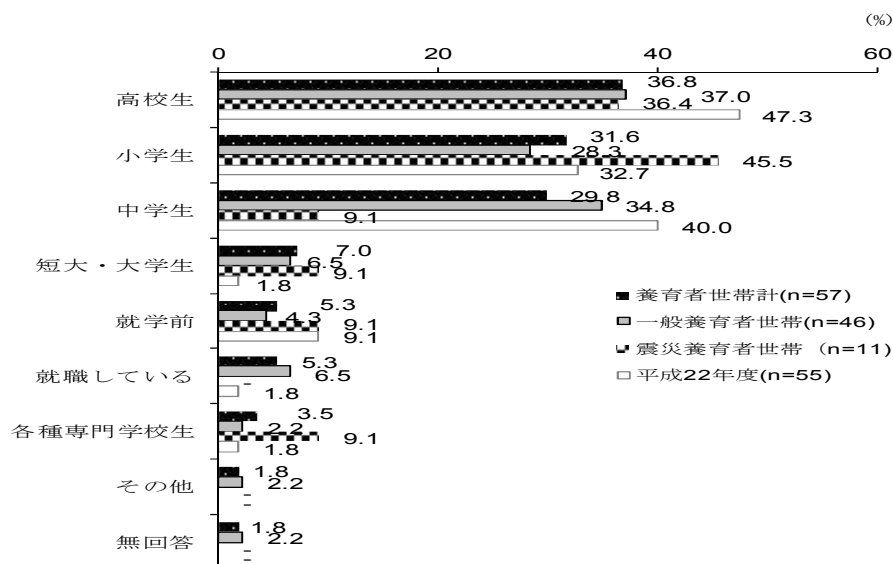
質問2 あなたが養育されている20歳未満の子どもさんは何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を()に記入してください。]

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をしている生計を同じくしている人を含みます。

調査数		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度	養育者世帯計 (57)	32 56.1	17 29.8	6 10.5	1 1.8	-	1 1.8
	一般 (46)	28 60.9	11 23.9	5 10.9	1 2.2	-	1 2.2
	震災 (11)	4 36.4	6 54.5	1 9.1	-	-	-
平成22年度	養育者世帯計 (55)	32 58.2	18 32.7	5 9.1	-	-	-

(上段：件数、下段：%)



※就学段階内訳（複数回答）

		合計	就学前	小学生	中学生	高校生	各種専門 学校生	短大・ 大学生	就職して いる	その他
平成25年度	養育者世帯計	69	3	18	17	21	2	4	3	1
	一般	56	2	13	16	17	1	3	3	1
	震災	13	1	5	1	4	1	1	0	0
平成22年度	養育者世帯計	74	5	18	22	26	1	1	1	-

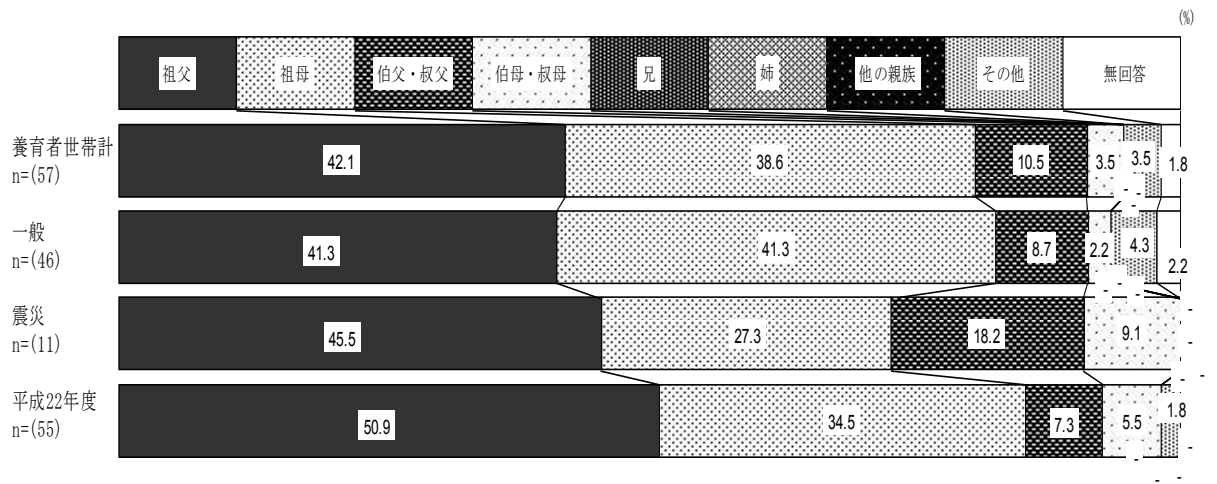
養育している20歳未満の子ども的人数については、「1人」(56.1%)が最も多く、次いで「2人」(29.8%)、「3人」(10.5%)となっている。「震災世帯」では、11世帯中、6世帯が「2人」であった。

就学段階については、「高校生」が36.8%で最も多く、以下、「小学生」(31.6%)、「中学生」(29.8%)となっている。「一般」、「震災」を比較すると「震災世帯」は「小学生」が45.5%と高く「一般世帯」は「中学生」が34.8%と高い。

前回調査と比較すると、今回調査では高校生、中学生の比率が減少している。

③子どもと養育者との続柄

質問3 あなたは、養育されている子どもさんからみて次のどれにあたりますか。
 [該当する番号1つに○をつけてください。]



		n	祖父	祖母	伯父・叔父	伯母・叔母	兄	姉	他の親族	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	42.1	38.6	10.5	3.5	-	-	-	3.5	1.8
	一般	(46)	41.3	41.3	8.7	2.2	-	-	-	4.3	2.2
	震災	(11)	45.5	27.3	18.2	9.1	-	-	-	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	50.9	34.5	7.3	5.5	-	-	-	1.8	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の間柄

子どもと養育者との続柄については、「祖父」が42.1%で最も多く、以下、「祖母」(38.6%)、「伯父・叔父」(10.5%)、「伯母・叔母」(3.5%)となっている。
 「震災世帯」は「伯父・叔父」の割合が「一般世帯」よりやや多い。
 前回調査との比較では、「祖父」の割合が少なくなっている。

VI. 調査結果 養育者世帯

④養育者世帯となった理由

質問4 養育されている子どもさんの、父母のいない理由は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

【父】

(%)

		n=	病死	災害、 事故死	その他 死亡	離婚	未婚の母	遺棄	配偶者の 心身障害	家出、 行方不明	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	8.8	8.8	1.8	42.1	10.5	3.5	-	1.8	7.0	15.8
	一般	(46)	8.7	-	2.2	50.0	10.9	2.2	-	2.2	8.7	15.2
	震災	(11)	9.1	45.5	-	9.1	9.1	9.1	-	-	-	18.2
平成22年度	養育者世帯計	(55)	10.9	1.8	9.1	52.7	7.3	3.6	1.8	3.6	3.6	5.5

■:上位1位 ■■■:上位2位 □□□:上位3位の理由

【母】

(%)

		n=	病死	災害、 事故死	その他 死亡	離婚	未婚の父	遺棄	配偶者の 心身障害	家出、 行方不明	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	22.8	12.3	3.5	28.1	3.5	1.8	-	10.5	5.3	12.3
	一般	(46)	21.7	2.2	4.3	30.4	4.3	2.2	-	13.0	6.5	15.2
	震災	(11)	27.3	54.5	-	18.2	-	-	-	-	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	27.3	1.8	9.1	36.4	1.8	3.6	1.8	3.6	3.6	10.9

■:上位1位 ■■■:上位2位 □□□:上位3位の理由

父親がいない理由については、「離婚」(42.1%)が最も多く、次いで「未婚の母」(10.5%)、「病死」「災害、事故死」が共に(8.8%)となっている。「一般」、「震災」を比較すると、「震災世帯」の理由が「災害、事故死」の割合が高いのは当然であるが、「病死」「離婚」「未婚の母」「遺棄」の理由が続き、災害だけではなく、震災後他への影響もあるのが伺える。

前回調査との比較では、やはり「災害、事故死」の増加と「未婚の母」が増えた事が印象的である。

母がいない理由についても、「離婚」(28.1%)が最も多く、次いで「病死」(22.8%)、「災害、事故死」(12.3%)となっている。全ての世帯を通して「病死」が上位となっている。

前回調査と比較して、「災害、事故死」が10.5%増加している。

⑤養育者世帯になってからの年数

質問5 養育者になられてから現在までの年数は何年ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		n=	2年未満	2～5年未満	5～8年未満	8～11年未満	11～15年未満	15～18年未満	18～20年未満	20年以上	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	7.0	31.6	12.3	22.8	19.3	5.3	1.8	-	-
	一般	(46)	8.7	17.4	15.2	26.1	23.9	6.5	2.2	-	-
	震災	(11)	-	90.9	-	9.1	-	-	-	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	12.7	21.8	23.6	14.5	20.0	5.5	-	1.8	-

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の年数

養育者世帯になってからの年数については、「2～5年未満」(31.6%)が最も多く、次いで、「8～11年未満」(22.8%)、「11～15年未満」(19.3%)となっている。前回調査と比較して、「2～5年未満」が増え、震災の影響が伺える結果となった。

⑥養育者世帯になった当時困ったこと

質問6 養育者世帯になった当時、最も困ったことは何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	47.4	3.5	1.8	3.5	3.5	3.5	29.8	3.5	3.5
	一般	(46)	52.2	2.2	-	-	4.3	4.3	28.3	4.3	4.3
	震災	(11)	27.3	9.1	9.1	18.2	-	-	36.4	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	47.3	3.6	1.8	-	-	-	45.5	1.8	-

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の困りごと等

養育者世帯になった当時困ったことについては、「生活費」(47.4%)が最も多く、次いで、「子どもの世話や教育」(29.8%)となっている。「一般」、「震災」を比較すると、「一般世帯」は「生活費」が最も高く24.9%の差、「震災世帯」では「子どもの世話や教育」が最も高く理由が異なる。

前回調査と比較して上位の理由は同様だが、前回調査ではなかった「家事」「健康」「相談相手」を今回は困りごととしてあげられている。

VI. 調査結果 養育者世帯

⑦東日本大震災前の住居状況

質問7 東日本大震災前の住居の状況は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

n=			持ち家 (分譲マンションを含む)	父母等の 家に同居	借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)	公営・公社・公団の賃貸住宅	間借り	会社の社宅等	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	64.9	5.3	14.0	7.0	1.8	1.8	1.8	3.5
	一般	(46)	60.9	6.5	15.2	8.7	2.2	-	2.2	4.3
	震災	(11)	81.8	-	9.1	-	-	9.1	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	65.5	10.9	9.1	9.1	1.8	-	3.6	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の住居形態

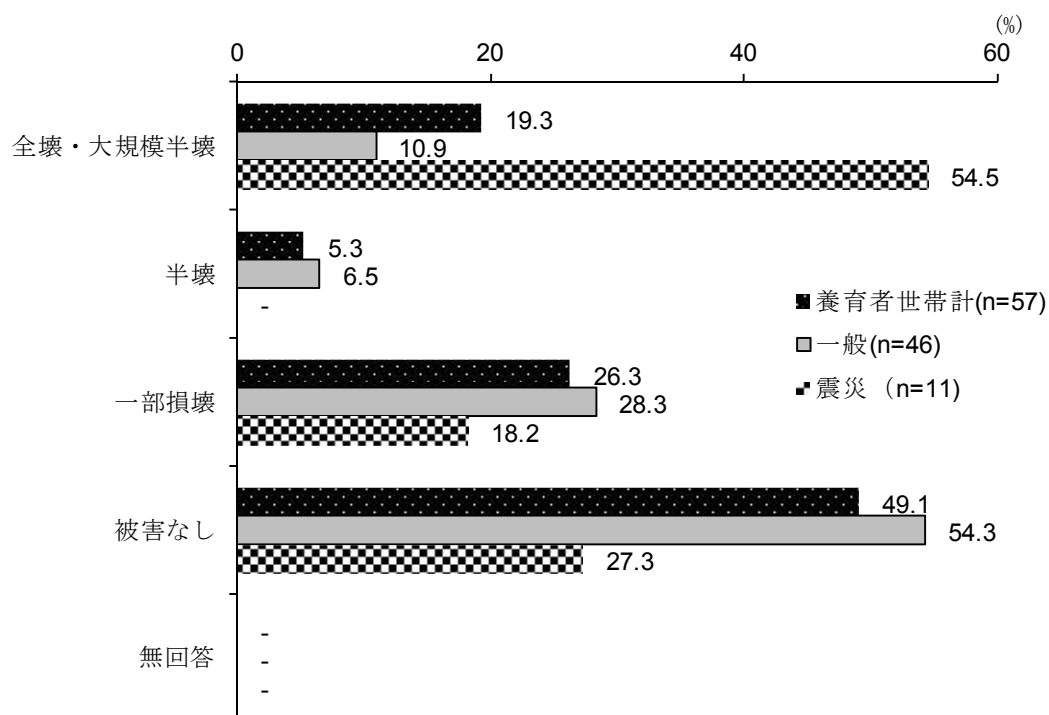
東日本大震災前の住居の状況は、「持ち家（分譲マンションを含む）」（64.9%）が最も多く、ついで、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」（14.0%）、「公営・公社・公団の賃貸住宅」（7.0%）、「父母等の家に同居」（5.3%）となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「持ち家（分譲マンションを含む）」は8割を超えていた。

前回調査（あなたの住居の状況は何ですか。）と今回調査「養育者世帯計」を比較すると、今回調査は「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」が多く、「父母の家に同居」が少ない。

⑧東日本大震災による住居の被害状況

質問8 東日本大震災前の住居は、被害がありましたか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



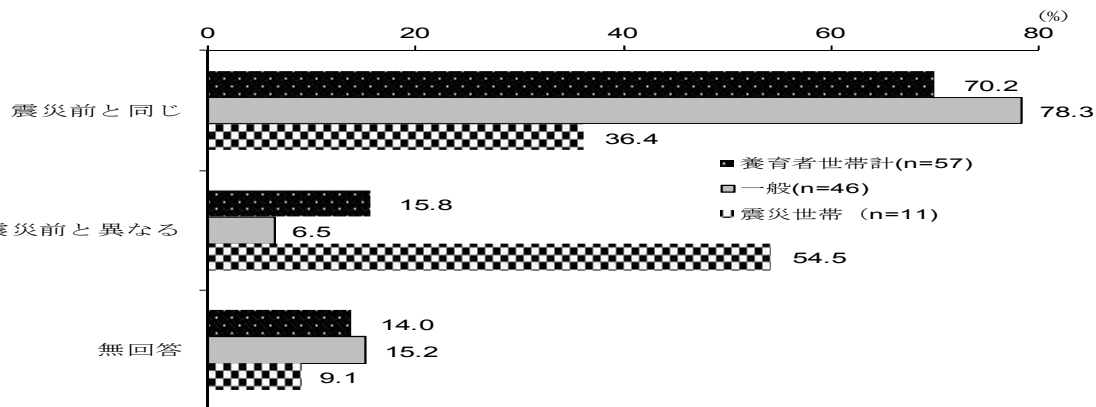
東日本大震災による住居の被害状況は全体では「被害なし」が49.1%と最も多く、次いで「一部損壊」(26.3%)、「全壊・大規模半壊」(19.3%)の順となっており、一部損壊以上の被害を受けた世帯は半数を超える。

「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の7割以上が一部損壊以上の被害をうけている。

VI. 調査結果 養育者世帯

⑨東日本大震災前後の住居の変化

質問9 現在の住居は、東日本大震災の前と後では異なりますか。異なる場合はどのような状況ですか。[該当する番号1つに○をつけてください。]



東日本大震災前後の住居の変化では、全体では「震災前と同じ」が70.2%、「震災前と異なる」が15.8%となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の5割以上が「震災前と異なる」としている。

⑩東日本大震災後の住居状況

質問10 あなたの東日本大震災後の住居の状況は何ですか。[該当する番号1つに○をつけてください。]

		持ち家を再建・購入した	仮設住宅・みなし仮設住宅	災害公営住宅	父母や親族等の家に同居	借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)	公営・公社・公団の賃貸住宅	間借り	会社の社宅等	母子生活支援施設	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計 (9)	33.3	44.4	-	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-
	一般 (3)	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	震災 (6)	33.3	50.0	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-

■:上位1位 ▨:上位2位 □:上位3位の住居形態

東日本大震災前と現在で住居が異なる人に現在の住居を尋ねたところ、全体では「仮設住宅・みなし仮設住宅」が44.4%と最も多く、次いで「持ち家を再建・購入した」33.3%、「借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)」「その他」共に11.1%の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「仮設住宅・みなし仮設住宅」が16.7%「一般世帯」より多く、「借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)」は「震災世帯」には該当者はいない。

(2) 就労・経済の状況について

① 勤労状況の変化

質問 11 養育者世帯になったことで勤労の状況は変わりましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

			(%)						
			仕事は変わらない	同じ職場内で別の仕事に変わった	転職した	仕事を辞めた	仕事に就いた	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	47.4	-	3.5	21.1	1.8	24.6	1.8
	一般	(46)	47.8	-	2.2	23.9	2.2	21.7	2.2
	震災	(11)	45.5	-	9.1	9.1	-	36.4	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	40.0	-	5.5	23.6	1.8	23.6	5.5

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の勤労の状況

勤労状況の変化については、「仕事は変わらない」(47.4%)が最も多く、次いで「その他」(24.6%)、「仕事を辞めた」(21.1%)となっている。「一般」、「震災」別では「一般世帯」の「仕事を辞めた」との回答が、「震災世帯」を大きく上回っている。

前回調査との比較では、「仕事は変わらない」世帯が増加している。

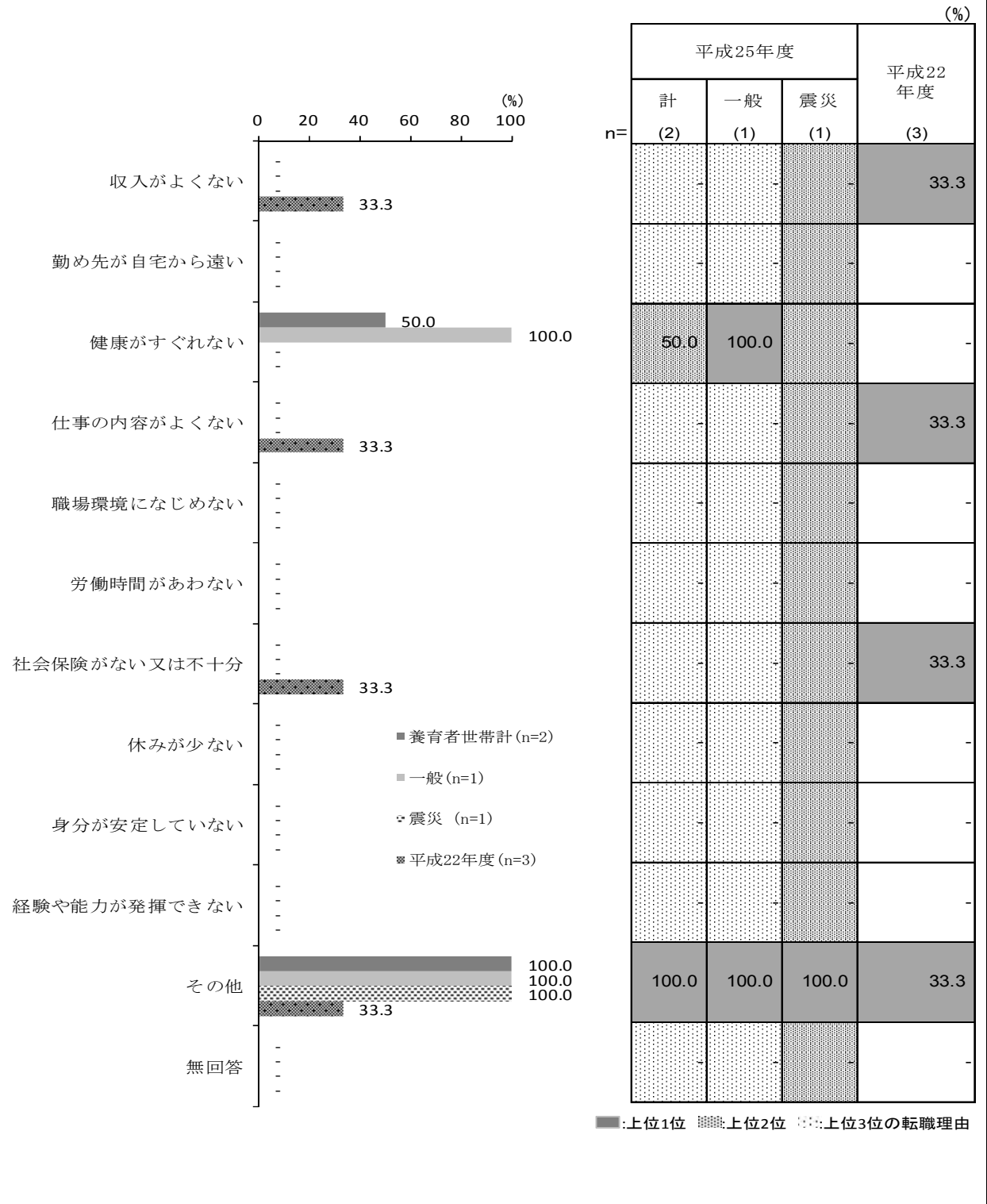
VI. 調査結果 養育者世帯

②転職理由

【質問 12 は、質問 11 で（「3. 転職した」）とお答えの方にかがいます。】

質問 12 転職した理由は何ですか。

〔該当する番号 2 つ以内（主なもの）に○をつけてください。〕



今回の調査では、該当世帯は 2 世帯のみだったが、「その他」、「健康がすぐれない」が転職理由として上位にあがっている。

③勤労形態

質問 13 あなたの勤労形態は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

			(%)							
			自営業	常時 雇用者	臨時雇用者 (パートを 含む)	内職	家事 手伝い	その他	無職	無回答
平成25年度	養育者世帯計	n=(57)	21.1	17.5	8.8	-	-	7.0	42.1	3.5
	一般	(46)	23.9	15.2	10.9	-	-	6.5	39.1	4.3
	震災	(11)	9.1	27.3	-	-	-	9.1	54.5	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	20.0	18.2	12.7	1.8	1.8	-	36.4	9.1

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の勤労形態

勤労形態については、「無職」(42.1%)が最も多く、次いで「自営業」(21.1%)、「常時雇用者」(17.5%)、「臨時雇用者(パートを含む)」(8.8%)となっている。

「一般」、「震災」別では、「一般世帯」は「自営業」が高く、「震災世帯」では「常時雇用者」が高い。

前回調査と比較して、「無職」がやや増えている。

④仕事内容

【質問 14～17 は、質問 13 で 1～6（「7. 無職」を除く）とお答えの方にかがいます。】

質問 14 あなたの現在の仕事の内容は何ですか。

[該当する番号 1 つに ○ をつけてください。]

(%)

		n=	も の 専 門 的 職 業 （ 師 ・ 保 育 士 ・ 教 員 な ど 資 格 を 有 す る ）	ど 管 理 的 職 業 （ 会 社 や 団 体 の 役 員 な ど ）	含 む ） 事 務 （ 一 般 事 務 の ほ か 、 外 勤 事 務 を ）	販 売 （ 商 品 の 販 売 、 店 員 、 セ ー ル ス ）	運 輸 ・ 通 信 （ 職 業 運 転 士 ・ 同 助 手 、 荷 役 な ど 運 輸 従 事 者 、 通 信 従 事 者 ）	農 業 、 林 業 、 漁 業	技 能 職 （ 製 造 、 加 工 、 組 立 、 建 設 、 修 理 な ど の 従 事 者 ）	サ ー ビ ス 業 （ 飲 食 店 、 理 容 ・ 美 容 店 な ど 接 客 や サ ー ビ ス 業 従 事 者 ）	そ の 他	無 回 答
平成25年度	養育者世帯計	(31)	3.2	-	-	6.5	3.2	9.7	29.0	12.9	22.6	12.9
	一般	(26)	3.8	-	-	7.7	3.8	11.5	23.1	11.5	23.1	15.4
	震災	(5)	-	-	-	-	-	-	60.0	20.0	20.0	-
平成22年度	養育者世帯計	(30)	-	3.3	3.3	3.3	6.7	20.0	30.0	16.7	6.7	10.0

■ :上位1位 ■■■ :上位2位 ■■■■ :上位3位の仕事内容

仕事の内容については、「技能職（製造、加工、組立、建設、修理などの従事者）」が 29.0% で最も多く、以下、「その他」（22.6%）、「サービス業（飲食店、理容・美容店など接客やサービス業従事者）」（12.9%）となっている。

「震災世帯」は「技能職（製造、加工、組立、建設、修理などの従事者）」が 60.0% で「一般世帯」を大きく上回っている。

前回調査と比較すると、「農業、林業、漁業」が減少、「その他」が増加している。

⑤仕事を探した方法

質問 15 あなたは、今の仕事をどのような方法で探しましたか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

			(%)									
			公共職業安定所(ハローワーク)の紹介	ひとり親家庭支援員などの紹介	知人・友人などの紹介	家族や親族の紹介	学校からの紹介	企業の募集広告	新聞・チラシ・雑誌などの求人広告	探す必要はなかった	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(31)	3.2	-	32.3	3.2	3.2	3.2	-	16.1	16.1	22.6
	一般	(26)	3.8	-	30.8	3.8	-	3.8	-	15.4	15.4	26.9
	震災	(5)	-	-	40.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-
平成22年度	養育者世帯計	(30)	20.0	-	10.0	6.7	3.3	3.3	13.3	26.7	3.3	13.3

■:上位1位 ▨:上位2位 ▩:上位3位の仕事の探し方

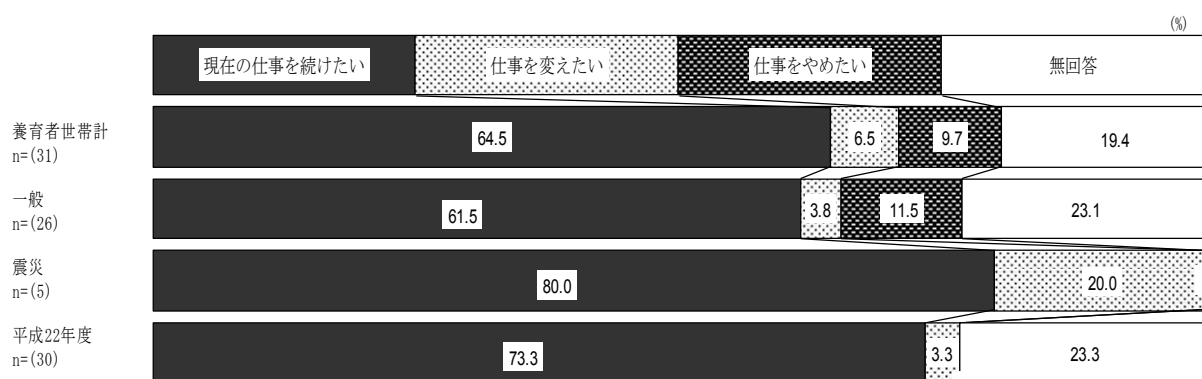
仕事を探した方法については、「知人・友人などの紹介」(32.3%)が最も多く、「探す必要はなかった」「その他」共に(16.1%)となっている。

前回調査と比較して、前回多かった「探す必要はなかった」「公共職業安定所(ハローワーク)の紹介」「新聞・チラシ・雑誌などの求人広告」が減少し、「知人・友人などの紹介」「その他」が増加している。

⑥転職する希望

質問 16 あなたは現在、転職する希望がありますか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



転職する希望については、全体では「現在の仕事を続けたい」が64.5%、「仕事を变えたい」が6.5%となっている。

「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の方が、「仕事を变えたい」の割合が「一般世帯」を上回る。

前回調査と比較すると、前は回答がなかった「仕事をやめたい」が1割近く、又「仕事を变えたい」も前回の約2倍となっている。

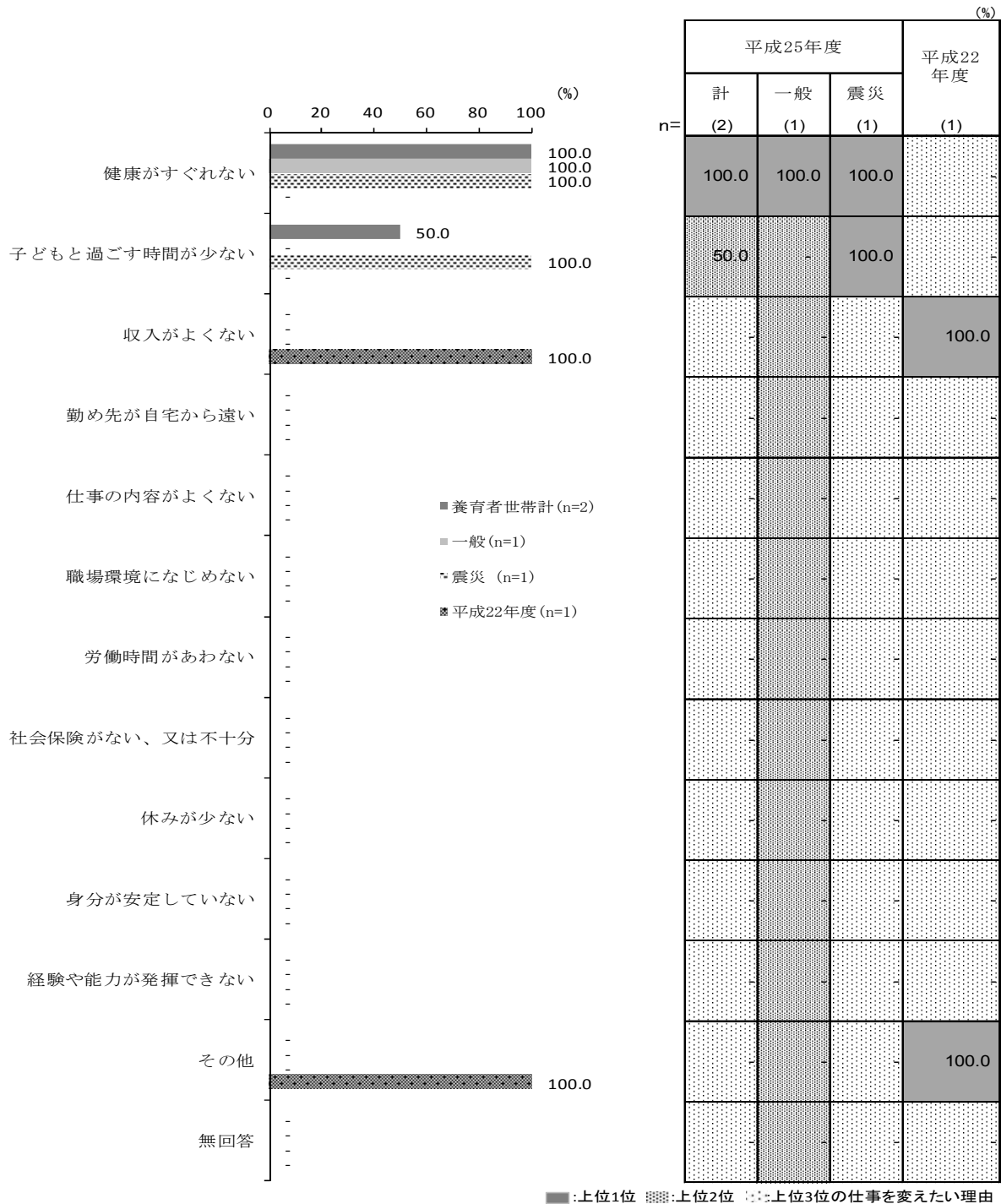
VI. 調査結果 養育者世帯

⑦仕事を变えたい理由

【質問17は、質問16で「2. 仕事を变えたい」とお答えの方にうかがいます。】

質問17 仕事を变えたい理由は何ですか。

[該当する番号2つ以内(主なもの)に○をつけてください。]



今回の調査では、該当世帯が2世帯のみだったが、仕事を变えたい理由については、「健康がすぐれない」「子どもと過ごす時間が少ない」となっている。

⑧仕事に就かない理由

【質問 18 は、質問 13 で「7. 無職」とお答えの方にかがいます。】

質問 18 あなたが仕事に就かない（就けない）主な理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

(%)

		n=	自分が 病弱	子どもの世 話、病気	他の家族の 世話や介護	適職がな い、勤務条 件が合わ ない	働く必要 がない	高齢の ため	就職のため の技能、技 術習得中	その他	就職は考え ていない	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(24)	16.7	4.2	-	4.2	8.3	62.5	-	4.2	-	-
	一般	(18)	16.7	5.6	-	5.6	-	66.7	-	5.6	-	-
	震災	(6)	16.7	-	-	-	33.3	50.0	-	-	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(20)	15.0	5.0	-	-	5.0	75.0	-	-	-	-

■:上位1位 ▨:上位2位 ▤:上位3位の仕事に就けない理由

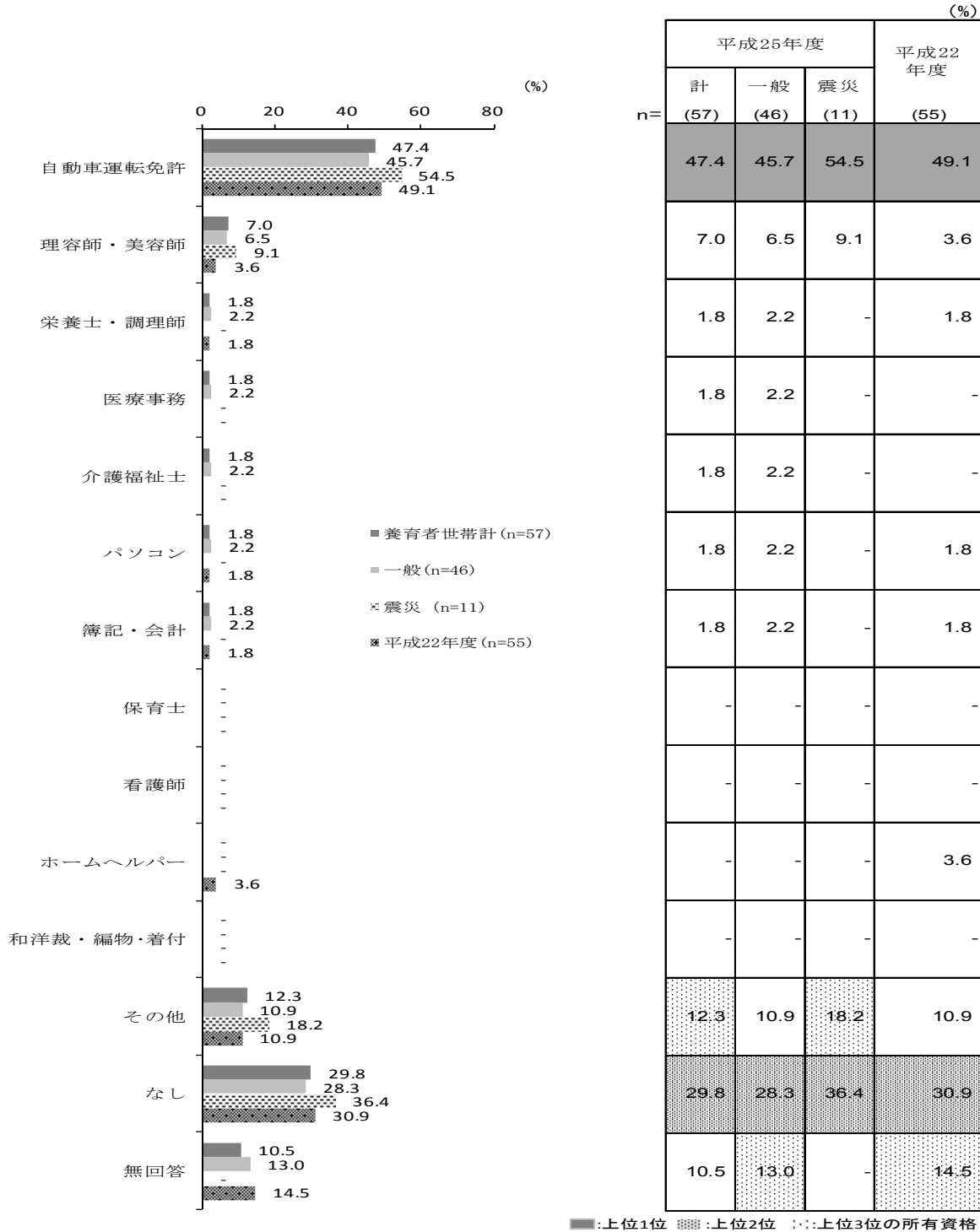
仕事に就かない理由については、全体では、「高齢のため」(62.5%)が最も多く、次いで「自分が病弱」(16.7%)、「働く必要がない」(8.3%)の順となっている。

「一般」「震災」別では、「一般世帯」では「子どもの世話、病気」「適職がない、勤務条件が合わない」との回答があり、「震災世帯」は「働く必要がない」が多い。

⑨持っている資格

質問 19 あなたがお持ちの主な資格等は何ですか。

[該当する番号3つ以内(主なもの)に○をつけてください。]

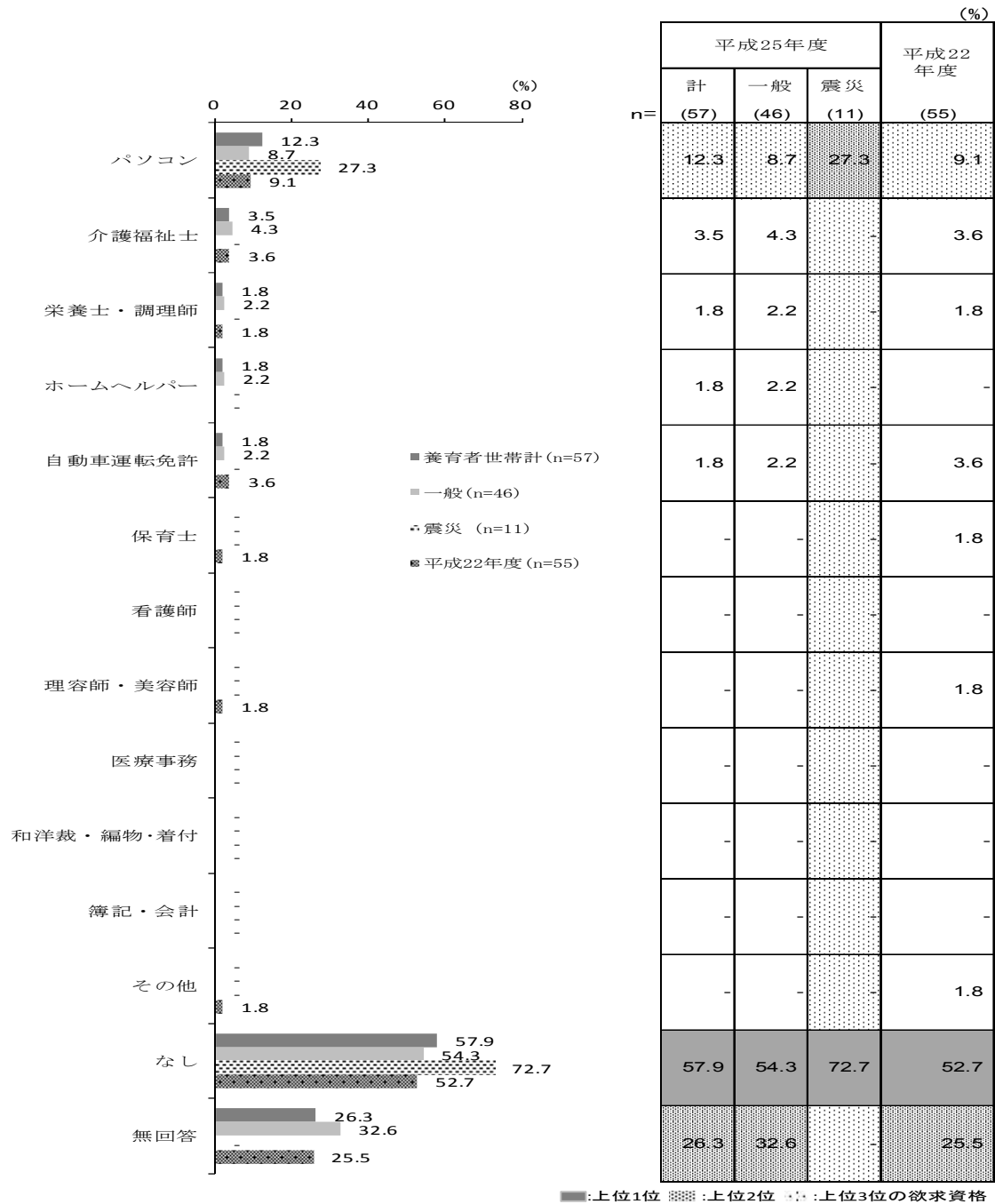


持っている資格については、「自動車運転免許」(47.4%)が最も多く、次いで「なし」(29.8%)、「その他」(12.3%)となっている。

⑩今後身につけたい資格・特技

質問 20 あなたが今後仕事のために身につけたい資格等は何ですか。

[該当する番号2つ以内(主なもの)に○をつけてください。]



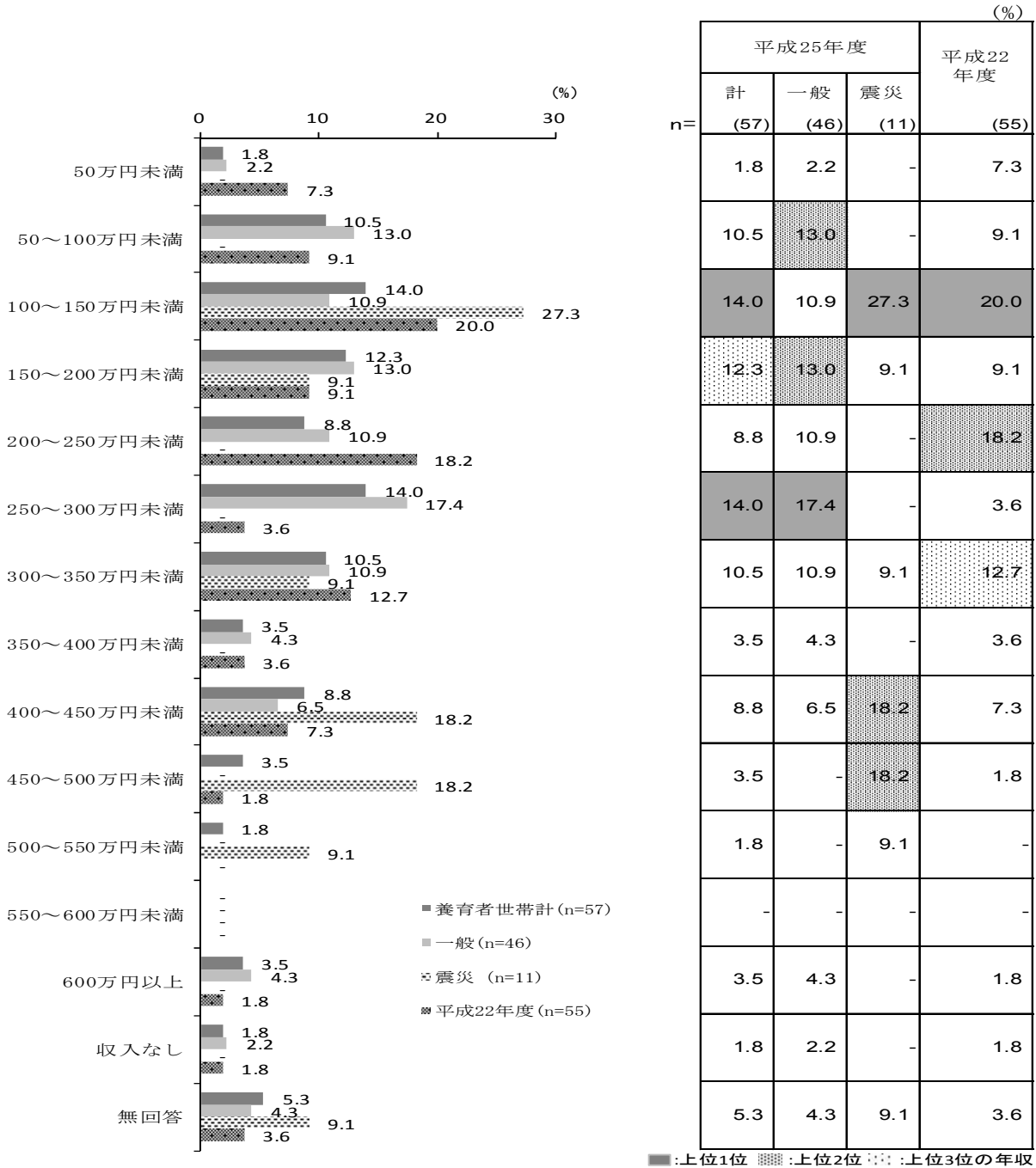
今後身につけたい資格・特技については、「パソコン」が12.3%となっている。一方、「なし」は57.9%となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「パソコン」が27.3%と高い。前回調査と比較しても、「パソコン」が増え、必要と考えている人が増えつつある。

VI. 調査結果 養育者世帯

⑩年間収入

質問 21 あなたの世帯の平成 24 年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む全世帯員の合計額）。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

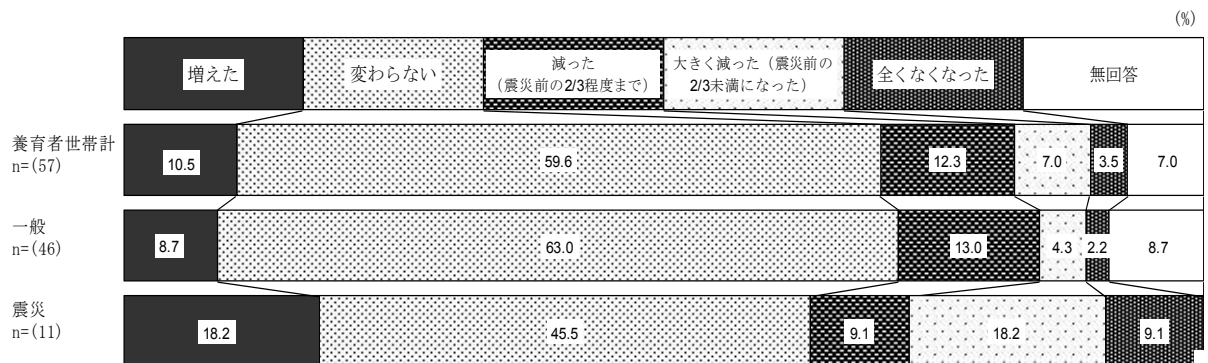


年間収入については、「100～150 万円未満」「250～300 万円未満」共に 14.0%で最も多く、次いで、「150～200 万円未満」(12.3%)、「50～100 万円未満」(10.5%) の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」の方が「一般世帯」より年収が高い傾向にある。

⑫東日本大震災後の世帯の年間収入の変化

質問 22 東日本大震災後、世帯の年間収入は変化がありましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



東日本大震災後の世帯の年間収入の変化については、全体では、「変わらない」が 59.6%と最も多く、次いで「減った(震災前の 2/3 程度まで)」(12.3%)、「増えた」(10.5%)の順となっている。

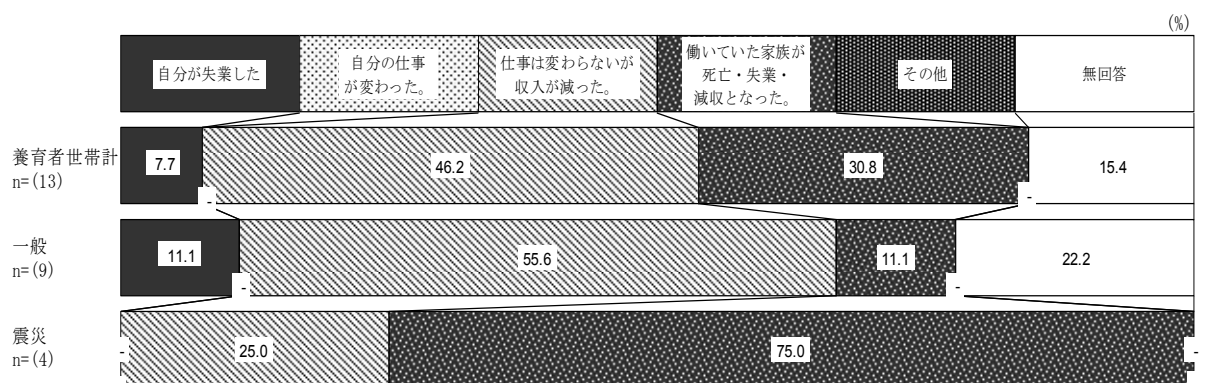
「一般」、「震災」別では「震災世帯」の「変わらない」が少なく、「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」が「一般世帯」を大きく上回っている。

⑬世帯収入が減った理由

【質問 23 は、質問 22 で「3. 減った、5. 全くなくなった」とお答えの方にはうかがいます。】

質問 23 世帯収入が減った(全くなくなった)主な理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



世帯収入が減った理由は、全体では、「仕事は変わらないが収入が減った。」(46.2%) が最も多く、次いで「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」(30.8%)、「自分が失業した」(7.7%)の順となっている。

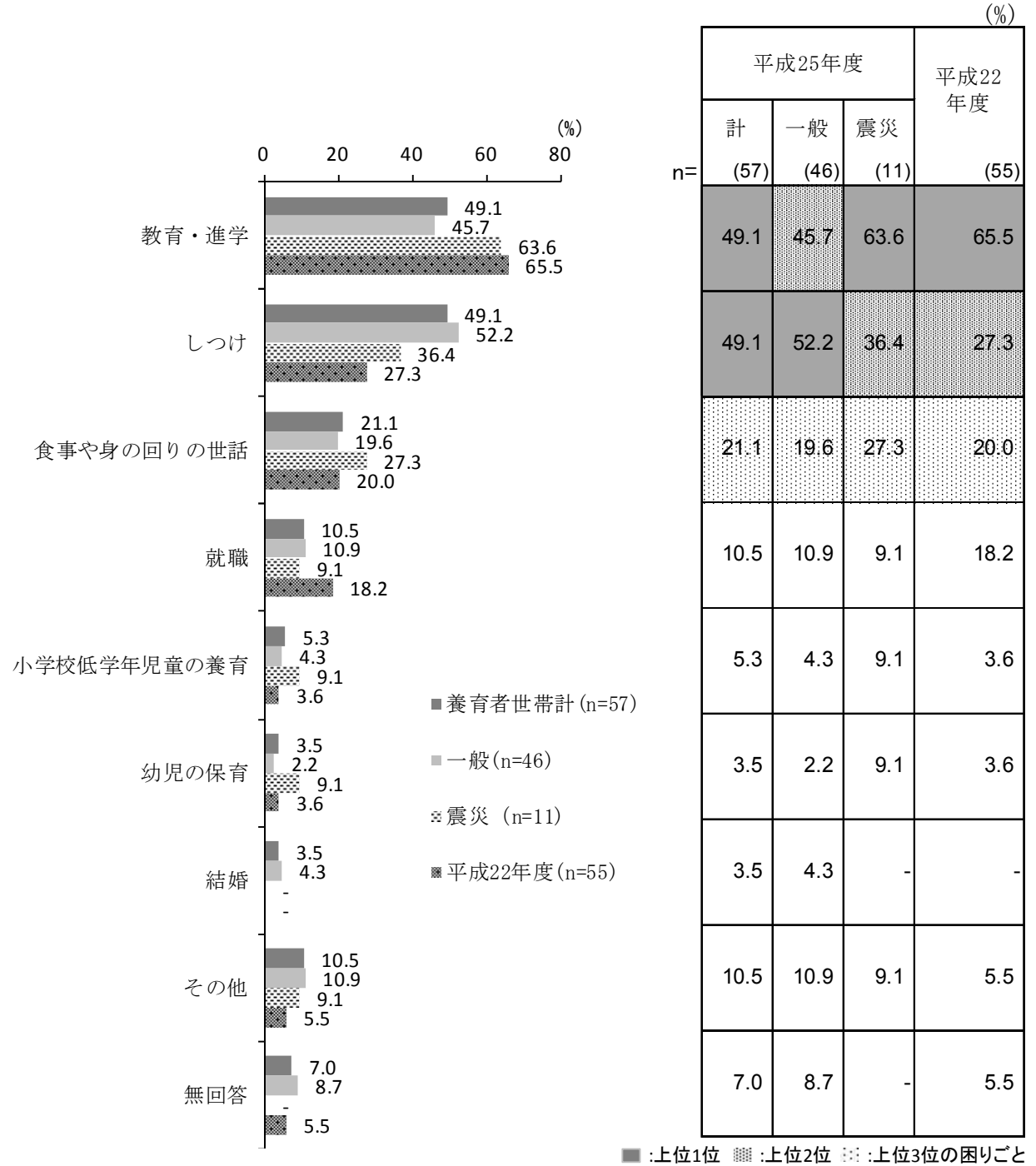
「一般」、「震災」別では「震災世帯」の「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」が 75.0%と 3/4 を占めている。

(3) 子どもの状況について

①子どものことで困っていること

質問 24 現在子どもさんのことで困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



子どものことで困っていることについては、全体で、「教育・進学」「しつけ」が共に49.1%で最も多く、次いで「食事や身の回りの世話」(21.1%)となっている。

他の世帯も同様の理由が上位を占める。

②病気のときの子どもや身の回りの世話

質問 25 あなたが病気の時、子どもの世話や、あなたの身の回りの世話はどなたに頼みますか。[該当する番号1つ(主なもの)に○をつけてください。]

			(%)									
			同居の親族	別居の親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー等	家政婦、ベビーシッター等	児童施設などのショートステイ	その他	誰もいない	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(57)	42.1	36.8	1.8	3.5	1.8	-	1.8	7.0	5.3	-
	一般	(46)	45.7	34.8	-	-	2.2	-	2.2	8.7	6.5	-
	震災	(11)	27.3	45.5	9.1	18.2	-	-	-	-	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	54.5	21.8	-	-	1.8	-	1.8	5.5	10.9	3.6

■:上位1位 ▨:上位2位 ▨:上位3位の頼る人

病気のとときに子どもや身の回りの世話をする人については、全体で、「同居の親族」が42.1%で最も多く、次いで、「別居の親族」(36.8%)の順となっている。

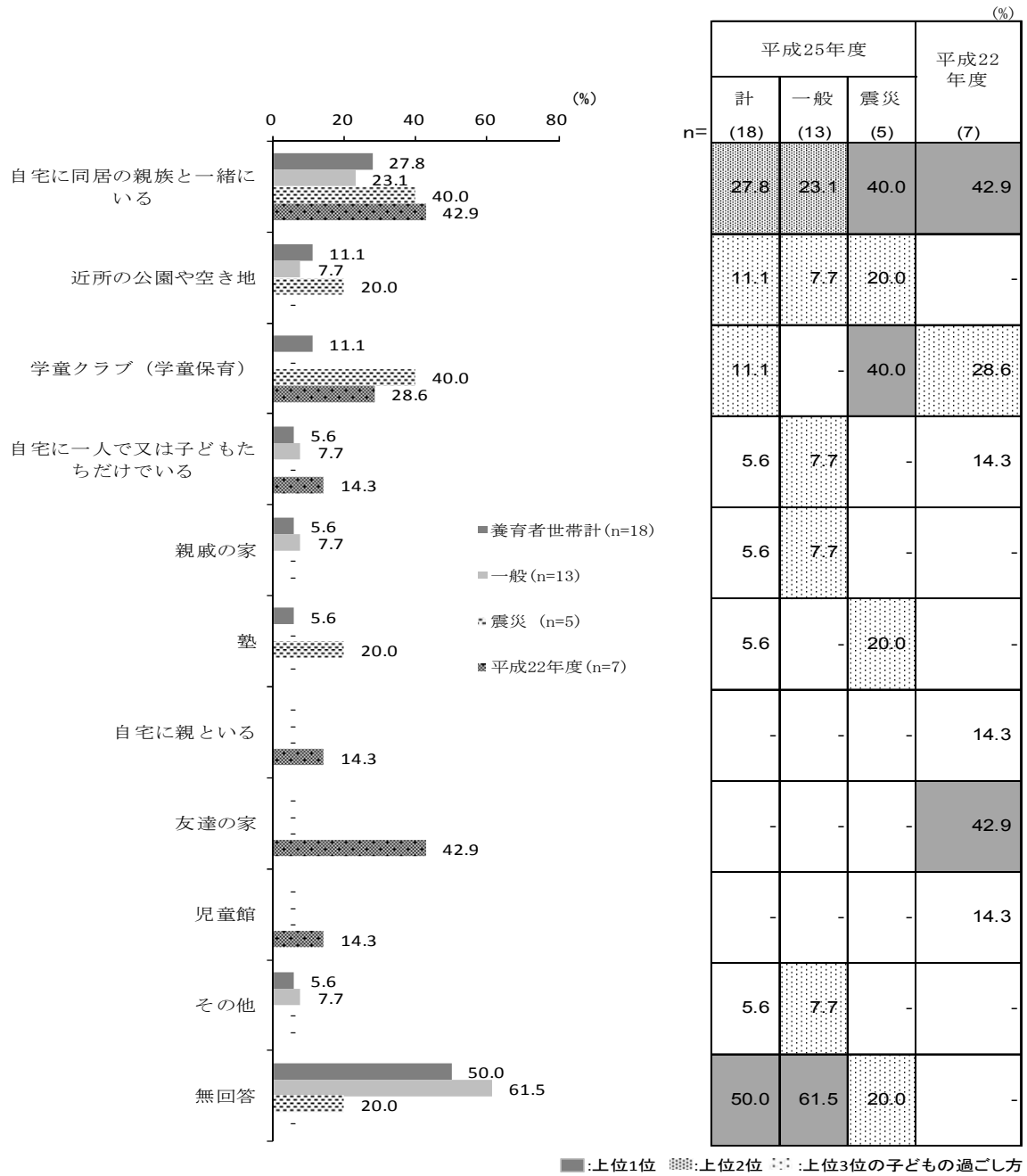
「一般」、「震災」別では「震災世帯」では「別居の親族」「近所の人」が、「一般世帯」より多くなっている。

③学校が終わってからの子どもの過ごし方

【質問 26 は、小学校 1 年生から 3 年生の子どもさんのいる世帯にうかがいます。】

質問 26 子どもさんは、学校が終わってから主にどのように過ごしますか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]



放課後の小学校 1～3 年生の子どもさんの過ごし方については、全体で、「自宅に同居の親族と一緒にいる」(27.8%) が最も多く、次いで「近所の公園や空き地」「学童クラブ (学童保育)」(11.1%) の順となっている。

「一般」、「震災」別では「震災世帯」は「自宅に同居の親族と一緒にいる」「学童クラブ (学童保育)」の割合が「一般世帯」より多い。

前回調査と比べて、前回高かった「友達の家」が今回は該当者がいなかった。

④子どもの進学に関する考え

質問 27 子どもさんの進学はどこまでを考えていますか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

			(%)						
			中学校	高校	各種専門学校	短大・大学	子どもの意志に任せる	その他	無回答
平成25年度	養育者世帯計	(18)	-	38.9	11.1	22.2	27.8	-	-
	一般	(13)	-	53.8	15.4	7.7	23.1	-	-
	震災	(5)	-	-	-	60.0	40.0	-	-
平成22年度	養育者世帯計	(55)	-	36.4	10.9	23.6	20.0	-	9.1

:上位1位
 :上位2位
 :上位3位の子ども進路

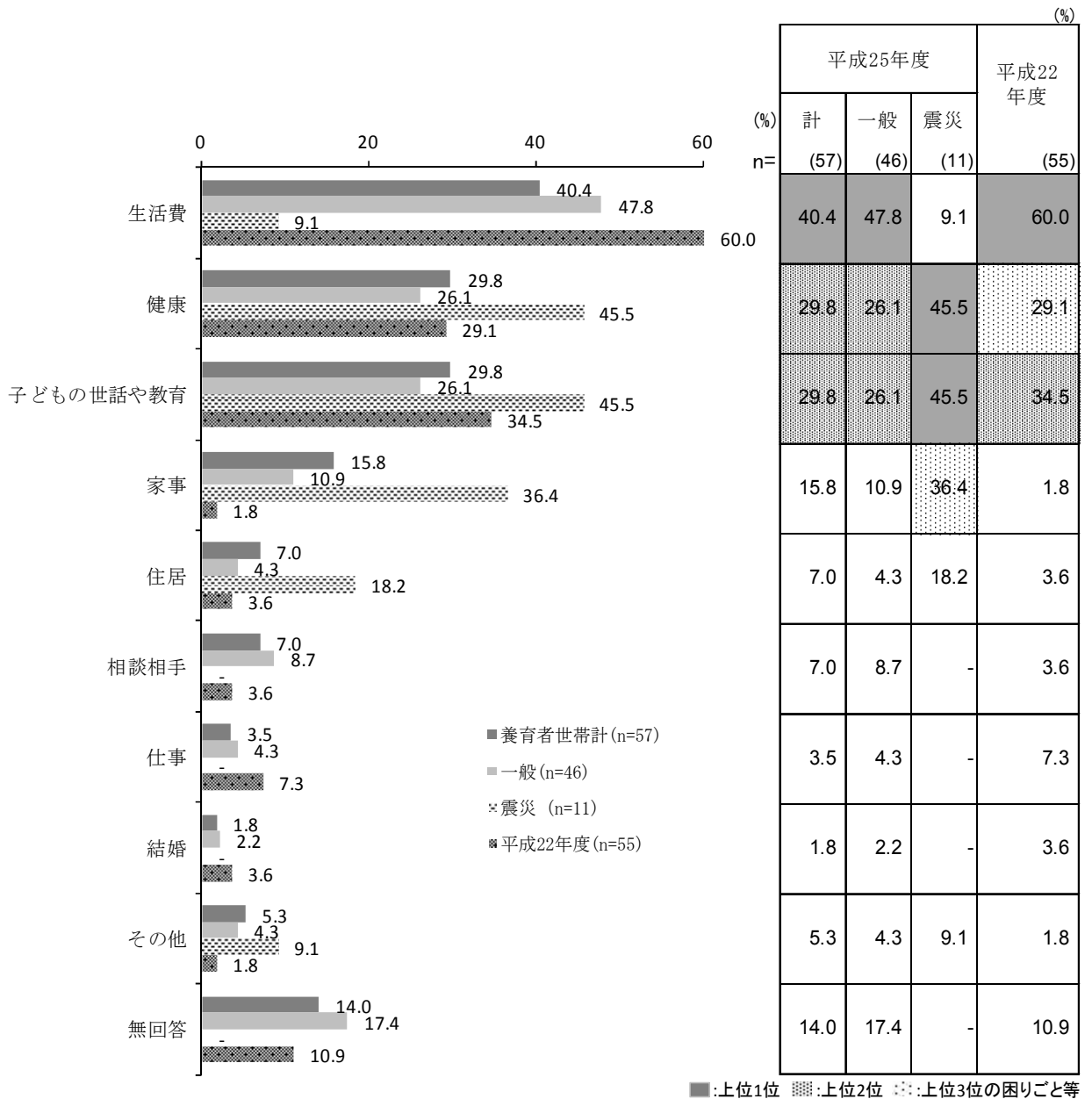
子どもの進学に関する考えについては、全体では「高校」が38.9%で最も多く、以下、「子どもの意志に任せる」(27.8%)「短大・大学」(22.2%)の順となっている。

「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「短大・大学」の割合が最も多く、「一般世帯」を52.3%上回っている。

(4) 困りごとの状況

①現在困っていること

質問 28 現在あなたが困っていること悩んでいることは何ですか。
 [該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



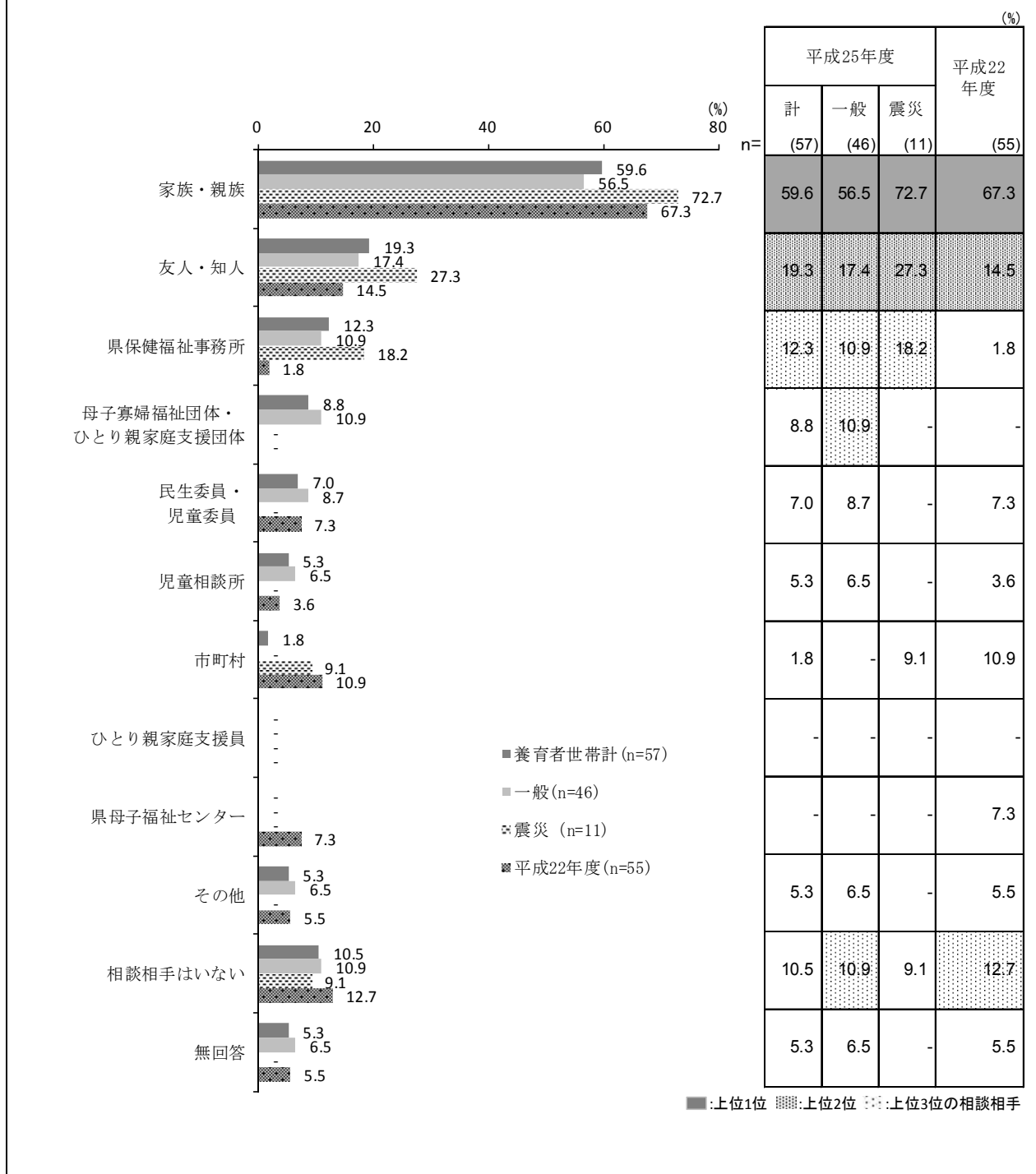
現在困っていることについては、全体では「生活費」が40.4%で最も多く、次いで「健康」「子どもの世話や教育」が共に(29.8%)となっている。

「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「健康」「子どもの世話や教育」が45.5%と最も高く、次いで「家事」(36.4%)で、いずれの割合も「一般世帯」を大きく上回っている。

②相談相手

質問 29 心配ごと等の相談は誰（どこ）にしていますか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



心配ごと等の相談相手については、全体では「家族・親族」(59.6%)、「友人・知人」(19.3%)の割合が高く、「一般世帯」「震災世帯」でも同様の傾向である。

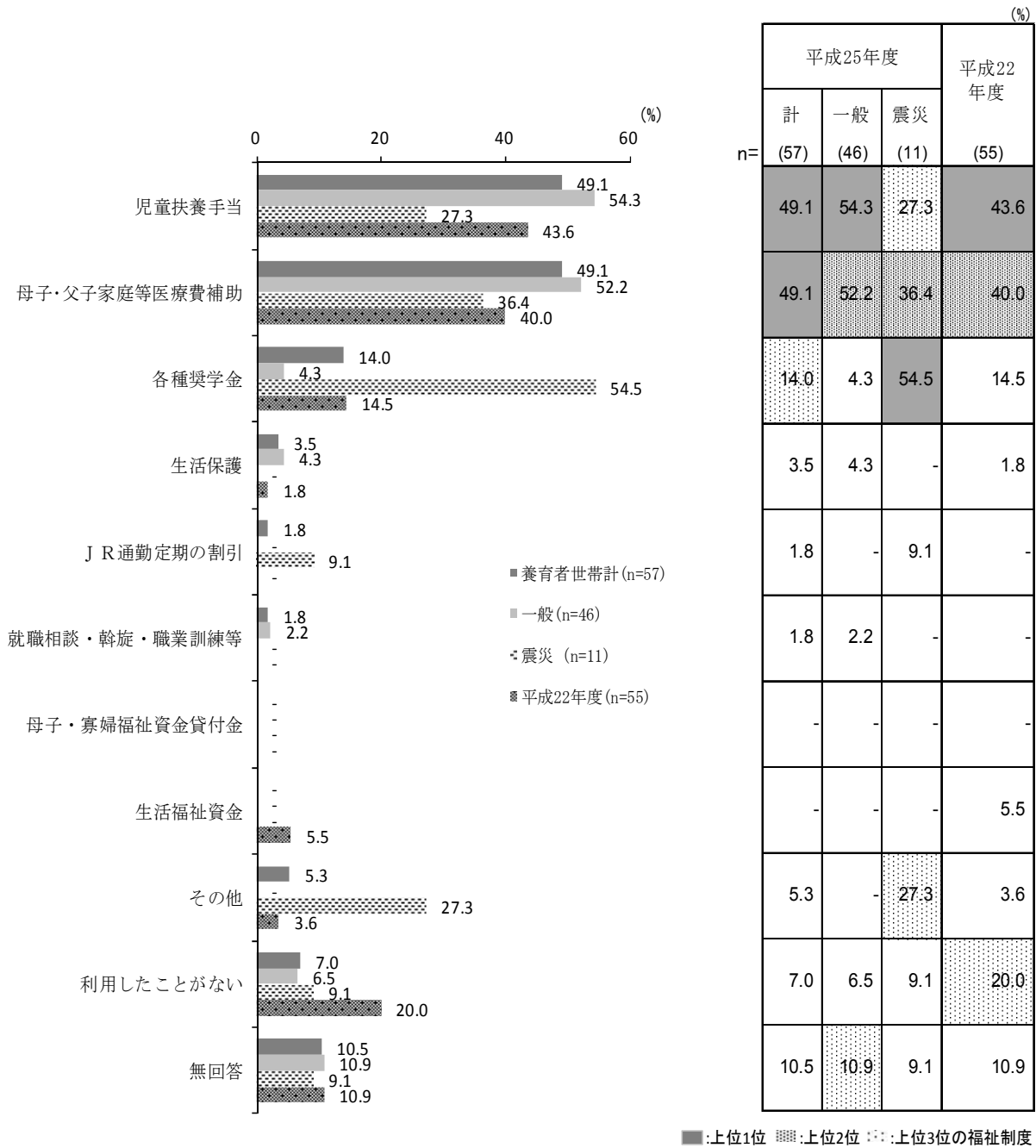
前回調査との比較では、「市町村」が減少傾向にあるものの、「県保健福祉事務所」や「母子寡婦福祉団体・ひとり親家庭支援団体」が増加し、施設や団体が少しずつ浸透しつつある。

(5) 福祉制度の利用状況

①利用した福祉制度

質問 30 あなたが利用した（利用している）福祉制度は何ですか。

[該当する番号5つ以内（主なもの）に○をつけてください。]



利用したことがある福祉制度については、全体では「児童扶養手当」「母子・父子家庭等医療費補助」が共に（49.1%）と最も高く、次いで「各種奨学金」（14.0%）の順となっている。

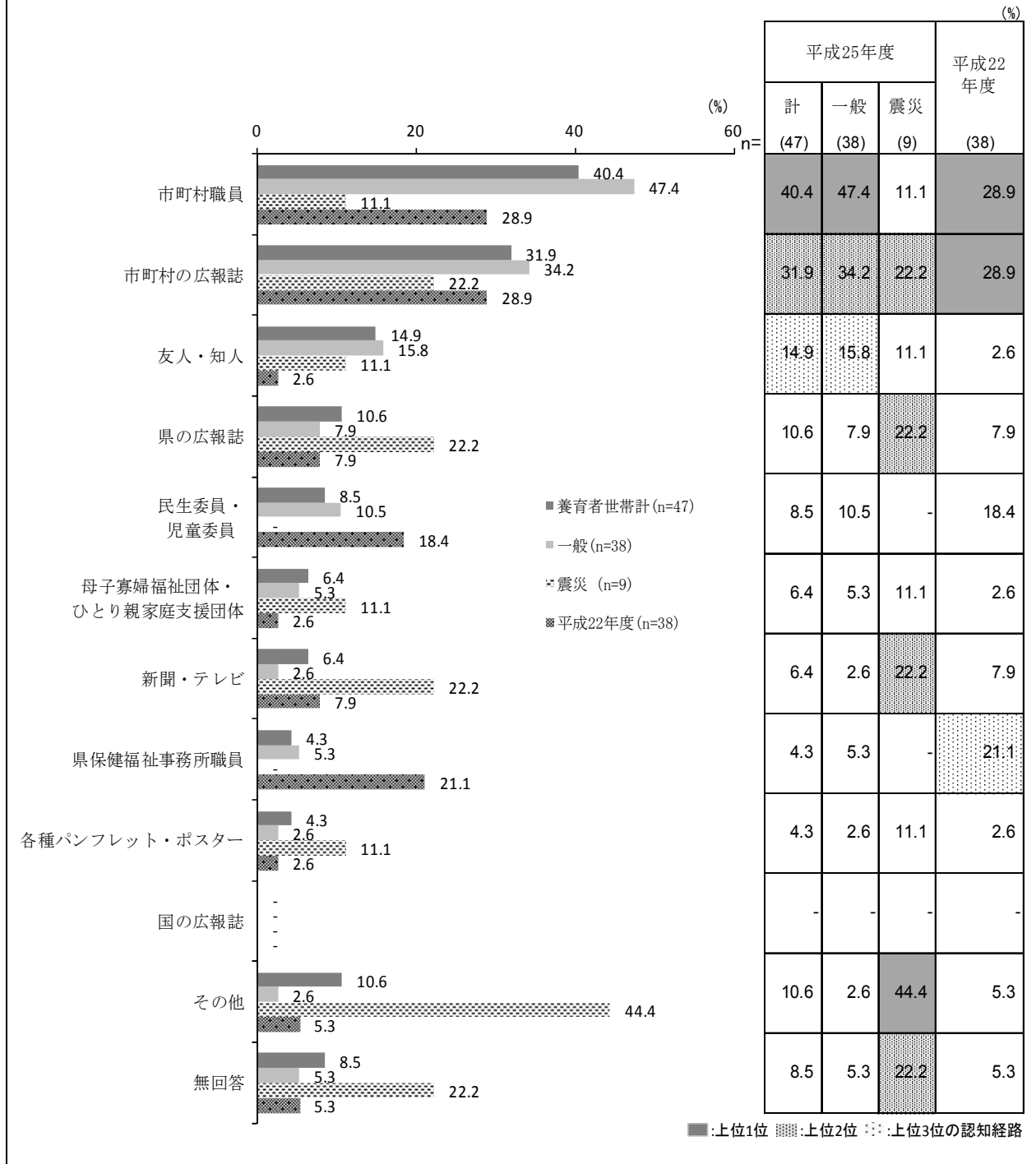
「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「各種奨学金」が最も多く、「一般世帯」では「児童扶養手当」が多い。

②福祉制度を知ったきっかけ

【質問 31 は、質問 30 の福祉制度を1つでも利用した（利用している）方にうかがいます。】

質問 31 どのようにして福祉制度を知りましたか。

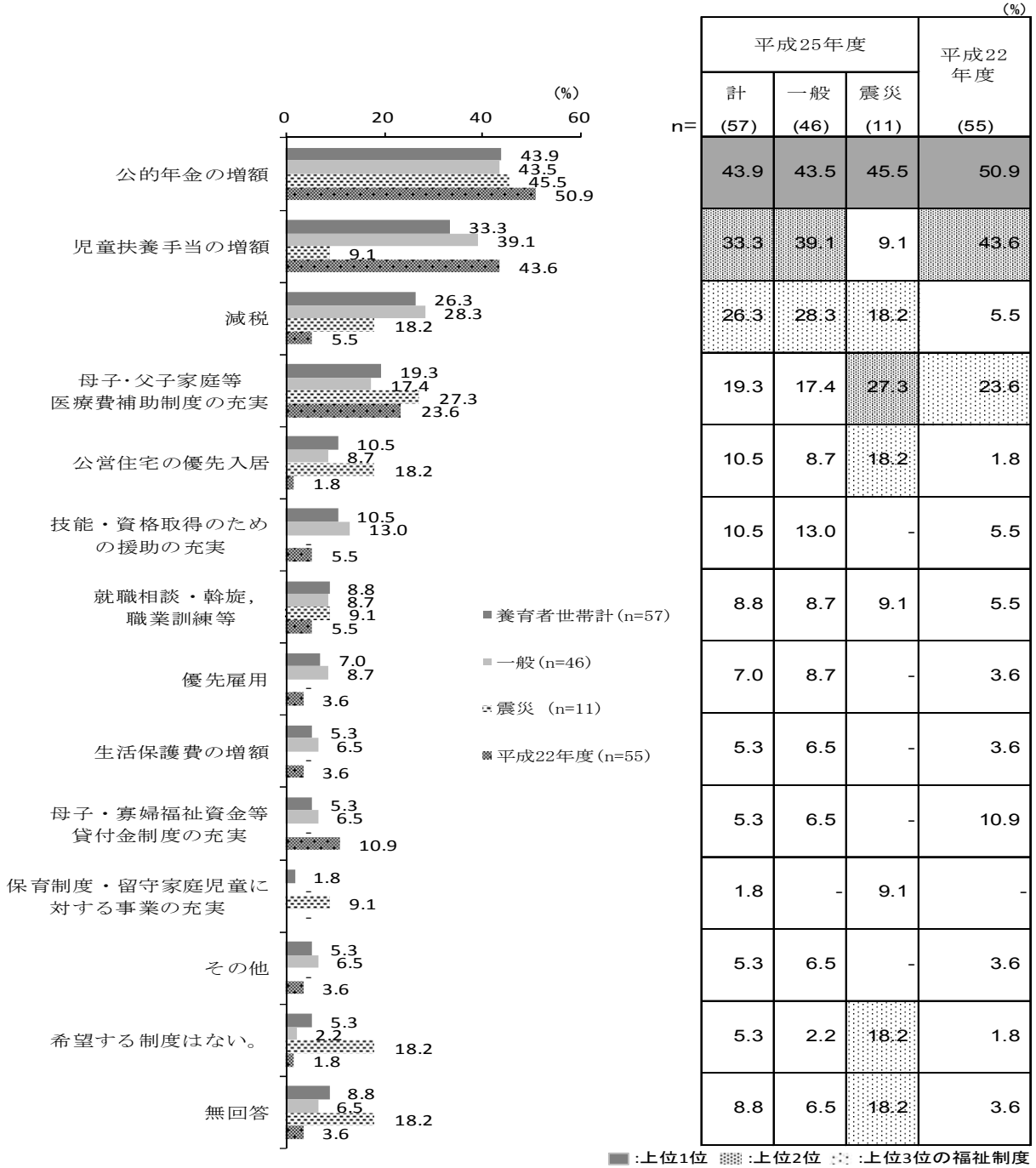
[該当する番号すべてに○をつけてください。]



福祉制度を知ったきっかけについては、全体では、「市町村職員」が40.4%で最も多く、以下、「市町村の広報誌」(31.9%)「友人・知人」(14.9%)、「県の広報誌」(10.6%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「県の広報誌」「新聞・テレビ」の割合が「一般世帯」より多い。

③希望する福祉制度

質問 32 あなたが希望する福祉制度は何ですか。
 [該当する番号3つ以内に○をつけてください。]



希望する福祉制度については、全体では、「公的年金の増額」が43.9%と最も多く、次いで「児童扶養手当の増額」(33.3%)「減税」(26.3%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」では「児童扶養手当の増額」の割合が「震災世帯」より30.0%多く、「震災世帯」は「母子・父子家庭等医療費補助制度の充実」が「一般世帯」より多い。